

# 建設業経理士 1級財務分析 出題パターンと解き方 過去問題集＆テキスト 26年3月・26年9月試験用(2025年10月19日 第20版第1刷) 正誤表

弊社の書籍をご利用いただき、有難うございます。

訂正が出ないようにと努力しておりますが以下の通り、誤りが判明致しました。

お手数をおかけして申し訳ございませんが訂正の上、ご利用下さい。

なお、弊社HP【「ネットスクール」検索→「読者の方へ」】にて訂正資料等の最新情報を閲覧・ダウンロードできますので、ご利用下さいよう

お願ひいたします。

2025.11.21

ページ	該当箇所	誤	正	備考
2-21	3. 資本集約度の算定 枠内の公式	労働集約度(円) = $\frac{\text{総資本}}{\text{総職員数}}$	資本集約度(円) = $\frac{\text{総資本}}{\text{総職員数}}$	2025.11.21
2-21	3. 資本集約度の算定 計算式	労働集約度(円) = $\frac{80,642,000\text{円}}{200\text{人}} = (\text{略})$	資本集約度(円) = $\frac{80,642,000\text{円}}{200\text{人}} = (\text{略})$	2025.11.21

ISBN978-4-7810-1485-2 C1034 ¥2600E